

とめ市議会だより



未来に向かってVサイン!
(さくら幼稚園)

目次

東和総合運動公園10億円復旧へ 2
 国民健康保険税増税へ 4
 一般質問22人が登壇 6
 市民メッセージ 19



2013
第34号
8月21日

とめ市議会だより 第34号

平成25年8月21日発行

発行/宮城県登米市議会 〒987-0895 登米市迫町佐字中江二丁目6番地1
 編集/広報広聴委員会 ☎0220-22-1913 FAX0220-22-9225



～議会を傍聴してみませんか～



本会議は、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。
 議会での議員の発言や市長の考えなどを直接見聞きすることができますので、お気軽においでください。
 また、受付に閲覧用の「議案及び付属資料」3部を備えておりますので、傍聴の際にご覧いただくことができます。
 なお、傍聴席は50席ですので、団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。



県に要望書を提出

(仮称)登米総合産業高等学校の施設整備を求める要望書

7月19日、県知事、県教育長・県議会議長へ要望書を提出しました。
 教育長から、「現在、地権者と交渉中であり、要望をしっかりと受け止め、対応を検討したい。また、農高中通線のルート変更に伴う校舎敷地の有効活用を検討したい。」との話がありました。



県教育長へ要望書を手渡す田口議長

議会がらのお知らせ

市議会9月定例会

9月5日(木) 開会予定
 お気軽に傍聴してください。

議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。
<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

あしがき

市長選、市議選、参議院選が終わり、知事選と続く、今年は選挙の年。改選後初めての定例会は、22人が一般質問、市長の所信表明と補正予算等が提案され、審議を終え、登米市の9年目がスタートしました。本委員会も新メンバーとなり、さらに「読みやすく、わかりやすく伝える紙面づくり」をモットーに、議会の情報公開と市民参加を積極的に推進する一翼を担えるよう、委員一同努力してまいります。皆

議長	田口久義
副委員長	沼倉利光
委員	浅田正宏
	岩淵孝
	関藤淳子
	工藤英人
	氏家俊
	日下和弘
	熊谷和弘
	八木しみ子
広報広聴委員会	

さまのご意見、ご感想を頂ければ幸いです。
 ご愛読のほどよろしく
 お願い申し上げます。
 (熊谷 和弘)

東和総合運動公園復旧へ

事業費 10億7,778万円

6月定例会

一般会計

21億7677万円を追加補正

6月定例会は、6月7日から7月3日までの27日間の会期で開かれました。25年度各会計補正予算、条例改正、人権擁護委員の人事案件など34議案と要望書1件を、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問は22人の議員が行いました。



民家側に崩れたテニスコート



一般会計

FM/HiFi/AM 中継局整備

1億4646万円

災害時の情報伝達手段を拡充するため、FM/HiFi/AM放送の可聴エリアの拡大を図る。

FM放送を防災無線の代替と位置づけているが、十分に機能を果たせるのか。

複数の手段を組み合わせることで、災害情報の伝達が可能になることから、防災無線も併せて活用する。

災害復旧費

東和総合運動公園 10億7778万円

原形復旧を基本に、多目的グラウンドを人工芝生にし、より多くの種目に活用できるように整備する。

テニスコートのり面下には民家がある。復旧の工法を十分検討したか。

安全性を更に高めるため、大型の擁壁で施工する。

利用拡大のため、ナイター照明の要望があるが、今後の検討としたい。

森公民館

9962万円

旧森小学校の校舎1階部分を公民館として活用するため、改修工事を行う。

特別会計

国民健康保険

6億3075万円

歳出で保険給付費4億2454万円の増額。歳入で国民健康保険税5億2529万円、繰越金2億9999万円の増額。

今回の国保税の値上げは、前年度比1人当たり29.4%、1世帯当たり26.5%と大幅な負担増になるのではないか。

公平感を保つ課税の仕方に変更している。最小限の税率改正に抑えた。

反対討論

長引く景気の低迷により、1人当たりの所得が減少傾向の中、所得の低い人ほど負担が重い。一般会計からの繰入を行い、国保税の増税はやるべきではない。よって反対する。

工藤淳子 議員

(起立多数で原案可決)

保管場所のあり方について、問題はなかったか。どこに業務を委託するのか。

稲わらと違い農家個人の管理となっている。県の農業公社へ委託する。

汚染牧草被覆事業

6534万円

汚染牧草で屋内にありラッピングしていないもの、または壊れたり崩れたものを再ラップし、移動したりUVシートで被覆して保管する経費。



防除の効果は



現在使用の簡易トイレ

津山河川運動場 トイレ整備

3720万円

簡易トイレの老朽化により、固定トイレを河川敷に設置する。

3720万円のトイレとは、どのような仕様なのか。100人槽で汚水の放流はない。水源は不要であり、循環型で汚水を処理し再利用するというもの。石巻市和川の河川公園にあるトイレと同じ方式である。

アメリカシロ ヒトリ駆除

73万7000円

市内各地で発生がみられるため、駆除用の薬剤を購入する。

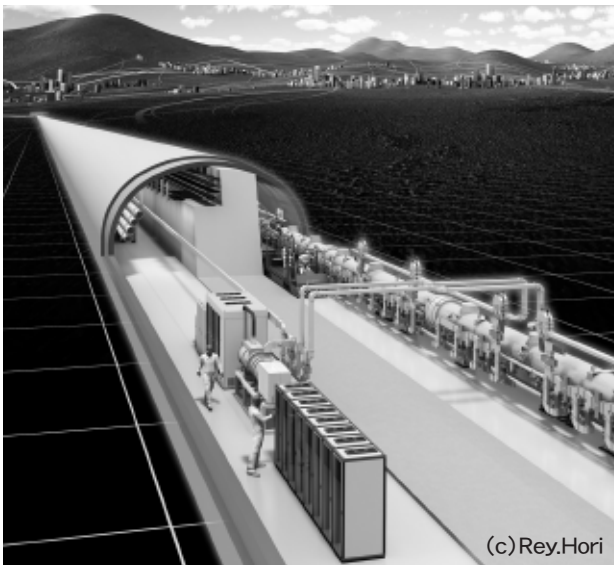
防除費73万7000円の増額で間に合うのか。各総合支所、各施設、公園、学校等も含め関係部署とともに必要量を算定した。第一化期は今、第二化期は8月から9月にかけてということ。で、早速駆除の態勢を進めた。

市政

こころが聞きたい

一般質問

一般質問は、6月20日から4日間、22人の議員が登場し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。
(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)
※ 議会ホームページで録画中継をご覧ください。



国際リニアコライダー (ILC) 完成予想図 (c)Rey.Hori

子どもたちに壮大な夢ILC誘致

答 岩手宮城両県知事や推進協議会で



星 順一 議員

問 世界で唯一の建設される国際リニアコライダー (ILC) の国内候補地に、北上山地 (岩手県、宮城県) と九州の脊振山

たちに夢を与える最高のプロジェクトに隣接する本市の取り組みは。
答 ILCの誘致については、一関市長が来庁し要請を受けた。岩手・宮城両県知事や東北ILC推進協議会を中心とした誘致活動が効果的である。

援が必要と考える。また、国に先駆けて保育料の無料化や4人目5人目の出産には100万円の報奨金などのPR効果を考えるべきでは。
答 国の子ども・子育て新制度の実施に合わせ作業を進めている。補助の基準に満たない事業所への独自支援事業など施策を検討する。
その他の質問
・職員の不祥事について

問 どうなる、いまだ復旧しない施設

答 地元の方々にも説明していく



相澤吉悦 議員

問 東日本大震災から2年3カ月が経過。東和総合運動公園、野球場、市道はどのように復旧する

道穴山武道下線については、東和総合運動公園と一括し実施する。工事は11月頃から始めたい。地元の方々にも説明していく。
問 放射能汚染稲わら保管の期限は間もなく2年の約束が近づいている。今こそ市と議会が一丸となって国、県に対し直接出向き、要望し実施すべきと思うが。
答 国の最終処分場の場所選定協議の途中であり、議会の協力は適切な時期を判断し、お願いしたい。

問 軽自動車税の納税証明書は、有効期限が4月末納期の前日までである。5月初めに車検を取得するには連休のため都合を生じている。特例で支障がなければ、5月末まで延長すべきと思うが。
答 市民の利便性を考慮し、納期を5月末まで延長するか、納税証明書の有効期限を延長するか検討を進めていく。



被災した東和総合運動公園



整備が待たれる市道

問 生活道路整備の更なる拡充を!!

答 区長を通じ要望書式を提示したい



二階堂一男 議員

問 市民要望の多い生活道路整備は、25年度は25路線となっているが要望数に十分応えていない。

熟度の高いものから単独事業で整備を行っていき。現道舗装の要望が年々増加の状況にあり、24年度からきめ細かな道路事業として実施している。こうした要望はまだまだあると思われるので、近日中に要望書式を区長さんを通じて提示していきたい。

問 在宅の高齢者や障がいのある人達に対し、かかりつけ医療機関や持病等の救急時に必要な情報を保管する「救急医療情報キット配布事業」を取り入れ、万に備えるべきと思うがどう考えるか。
答 本市ではこの事業に類似したものととして、民生委員協議会による「緊急時の災害連絡カード」や社会福祉協議会による「緊急時連絡版設置事業」がある事から、これら事業を充実させて対応していきたい。
その他の質問
・チャチャワールドの誘客施策について



公用車の燃料経費削減になっているか

問 平成20年4月より全
ての燃料の契約が入札制
度になった。公平・公正
にそして経費削減に努め



日下 俊 議員

答 様々な提案を検討していく

問 平成20年4月より全
ての燃料の契約が入札制
度になった。公平・公正
にそして経費削減に努め

答 救急車は現在7台運
行しているが、最大で月
600台位かかっている。
問 消防本部から一番遠
い給油所まで往復22キ、
時間にして45分かかる
が、毎日のように給油し
なくてはならない状況
で、1分1秒を争う救助
業務に支障がないか。
各出張所においても同様
なことがあると思うが。

答 時間的にはその間
使用できないと思われる。
できれば、近隣が良
いと思われるし、色々な
面で困ると考える。
問 公用車燃料入札を行
うことで、事務的経費や
直接経費が増え、経費削
減にならないのでは。
答 色々な契約上の手続
きは、厳正にしている。
単価変更についても毎月
公用車全車及び灯油・重
油もチェックしている。
問 災害時も考え、官公
需適格組合の活用も考え
てはどうか。
答 さまざまな提案・内
容等を精査し、対応して
いく。

問 先に新聞掲載された
農業生産額県内1位と、
市民所得県内32位のギャ
ップをどうつとめるか。



佐々木幸一 議員

問 若者の雇用と確保をどう築く 答 多角的な支援を行う

問 雇用力の高い企業誘
致をどう進めるのか。
答 工業団地として売却
可能な用地がなく、早期
に工業団地候補地の選定
を行う。企業立地セミナ

答 参加企業へのトップセ
ールスによる訪問活動で
情報収集を続ける。
問 企業誘致への期待も
大きいですが、地元企業支援
で更なる雇用増をどう進
めるか。
答 登米市企業活動支援
事業でビジネス商談会を
開催する。また地元企業
の生産技術向上の取り組
みを支援する。
問 農業を含め新たな産
業をどう起業支援するか。
答 付加価値を高めた農

問 農業の6次産業化は
今後の大きな柱の1つだ
が、地域にどう拡大し農
業所得増につなげるか。
答 経営体育成のための
塾で人材育成を目指し、
補助事業の有効活用、6
次産業化、農産物の直売
活動支援を通して農家所
得の向上を図る。



完売した長沼工業団地



完売した平林工業団地

問 市民所得向上に大き
な役割を果たし雇用拡大
に繋がる企業誘致はタイ
ミングが大事であり、早



佐々木 一 議員

問 早急に工業団地造成に取り組み 答 来年度の整備開始を目指す

問 市民所得向上に大き
な役割を果たし雇用拡大
に繋がる企業誘致はタイ
ミングが大事であり、早

答 文字が読めないとき
から、本を通しての親子
の対話は、非常に大切。
本市以上に取り組みを進
めている他の自治体を参
考にして、本市としても
セカンドブックスター
ト、その内容についての
充実を図っていきたい。

問 人脈や東北大学病院
等との連携した医師招聘
の取り組みと見通しは。
答 県の医師育成機構や
大学病院に創設された地
域医療教育支援部等との
連携を図りながら組織一
丸となり取り組んでいく。

問 近年、耕作放棄地の
増加が目立ち、この問題
が全国的に深刻化してい
る。農水省では、5カ年



熊谷和弘 議員

問 交付金活用で耕作放棄地の再生を 答 さらなるPRを実施していきたい

問 緊急対策事業は本年
度で終了するため、積極
的に事業PRや啓発活動
を実施すべきと思うが。
答 さらなるPRを実施
していきたい。
**セカンドブックスター
トの実施を**
問 本市では、18年度か
ら市内全域においてブッ
クスタート事業を実施。
乳幼児期から読書の世界
に触れる大切な運動であ

問 緊急対策事業は本年
度で終了するため、積極
的に事業PRや啓発活動
を実施すべきと思うが。
答 さらなるPRを実施
していきたい。
**セカンドブックスター
トの実施を**
問 本市では、18年度か
ら市内全域においてブッ
クスタート事業を実施。
乳幼児期から読書の世界
に触れる大切な運動であ

問 緊急対策事業は本年
度で終了するため、積極
的に事業PRや啓発活動
を実施すべきと思うが。
答 さらなるPRを実施
していきたい。
**セカンドブックスター
トの実施を**
問 本市では、18年度か
ら市内全域においてブッ
クスタート事業を実施。
乳幼児期から読書の世界
に触れる大切な運動であ



耕作放棄地の増加が深刻化している

問 人口減少を止める産業振興を

答 地域内発型の振興に取り組み



佐藤恵喜 議員

登米市の人口減少をくい止めるための施策の柱の一つは、経済産業振興である。第1次産業を

軸に、地域の資源に光をあてた産業振興が重要である。

従来活用されてこなかった地域固有の資源を活用した商品開発、地域ビジネスの創出により内発型の産業振興と、工業製品における地産地消に引き続き取り組む。

提案したように、機械設備の開発など物づくりの地産地消を進めること。その上で地産都商(地産外商)の推進を図ること。

行えるよう準備を進める。新エネルギー産業の育成は、いかに地元にお金を落とすかという観点が必要。県外の大手資本ではなく、地域でどうやって運営主体等を立ち上げるかの研究をすべき。

国保被保険者のうち、低所得者の医療費自己負担に対する助成を。

既存制度の利用と必要な部分の見直しを検討する。



羽沢川で遊ぶ子どもたち

問 子ども医療費の外来も無料化に

答 予防医療に重点を置いている



工藤淳子 議員

県内では外来の助成対象年齢が拡充されている。隣の栗原市・南三陸町では、昨年から中学

3年生までに拡充。また、仙台・石巻・塩釜・気仙沼市では小学3年生、または4年生まで助成され無料となっている。登米市でも無料にできないか。

子ども入院医療費の窓口負担なしに責任を持つて取り組むべきものなので、国・県に制度の拡充を強く要望していく。

4月から施行された「障害者支援法」は、新たに難病が福祉サービスの対象になるが、市としてどう進めていくのか。

問 本市の財政収支、今後の見通しは

答 合併支援終了後は厳しい財政運営



八木しみ子 議員

本市の財政見直しについて短期・中期・長期財政を伺う。

の合併算定替えが終了し、28年度から5年間の激変緩和期間を経て33年度には27年度の水準から約50億円の減額が想定される。市では合併算定替え期間の延長と新たな財政支援を国県に強く働きかけている。同時に引き続き経費の削減を図り、持続可能な財政の構築を

図る。住民サービスや負担に連動するのではないか。

最終的な減額幅が約50億円とあまりにも大きく、今後は、住民負担の在り方の調査検討を行うと共に自主財源の確保も鋭意進めていく。

認知症対策について

増加傾向にある認知症の対策が急がれる。介護体制の整備と支援策は。早期発見や早期治療につながるよう、保健・

福祉・医療・介護の連携を図り安心して暮らせるまちづくりを推進する。

働く女性の環境整備を

女性が働きやすい環境整備にしっかりと取り組むべきだ。

現在、子どもを持つ女性が働きやすい環境整備や民間にも支援策を行っている。今後は「仕事と生活の調和」を図り、男女とも家庭と仕事が両立できる就労環境づくりを進めていく。

問 旧米山病院を療養病棟に活用せよ

答 医師、看護師等の確保が大前提



浅田 修 議員

特養の入所希望者だけでなくも千人いる中、米谷病院に改修費約30億で一般病棟30床、療養40床の

計画があるが、まだまだ足りない状況である。増床の考えは。市の療養病床は県内でも非常に少ない状況である。旧よねやま病院を療養病棟に戻すためには24・5人新たに雇用しないといけない。医師、看護師不足が深刻化しており、募集しても応募がない。



市内事業者が設置した太陽光パネル

い状況で、現下の医療環境では開設は困難である。ただし、民間活力を導入した「サービス付き高齢者向け住宅」等へ転換する方向性は検討している。

被災住宅再建支援

ローンの利子補給や建築費用補助等市独自の支援策が必要と考える。

県内で4自治体の実施している。他自治体の効果を検証していきたい。

パークゴルフ場建設は

公認パークゴルフ場建設の場所として米山町善王寺地区、通称パイロット山が最適地と考える。

候補地の一つとして建設計画を策定していく。



子どもたちに明るい未来を

被災家屋解体遅れに伴う不公平感、支援格差がある。下水道等各減免制度の期間延長が必要。

パークゴルフ場建設は

候補地の一つとして建設計画を策定していく。



米谷病院の改修はいつか

問 新たな工業団地の選定・整備はいつ、どこに。



浅野 敬 議員

答 東北縦貫道及び三陸道のインターに近く、地

問 養病床の整備はいつか。

答 登米市の「子ども

問 所信表明とは選挙後直近の定例会で、市長が市民からいただいた任期4年間を見直した政策の



氏家英人 議員

問 所信表明に込めた市長の想いは

答 選挙戦では有権者の皆様から様々なご意見や批判、提言などをいただいた。公開討論会での議論も踏まえながら登米市の在るべき姿、取り組むべき方向性についても当然検証しなければならぬと考えている。

問 震災後、特に中心市街地に空き地が目立っているが、対策は。

問 持続可能なまちづくりの実践は

答 既存の各種補助金等のうち、一括交付が可能なものを整備・統合する。

問 十分伝えることができなかった

答 方向性を表明するものだ。しかし、残念ながら8年ぶりの市長選を勝ち抜き、3期目を迎えるトップとしての力強さを感じられなかった。また、1万7千人余りの市長ではない候補へ投票した市民の意思、思いや願いとあったものも反映されていないと感じたがどう

問 救急外来棟の供用開始で何が変わるのか。

答 27年度に基本設計・実施設計。28年度に施設整備する予定を、前倒し実施すべく検討する。

問 二括交付金制度を大幅に拡充すべきでは。



三陸道登米インター周辺の開発整備は

問 産業振興の中で、雇用と定住促進、新たな起業の取り組み等が円滑に進められるワンストップ



及川長太郎 議員

問 産業振興の取り組みは

問 放射能汚染による農畜産物等の損害賠償についての内容は。

答 5月時点の請求金額は43億166万円。支払金額は31億136万円であり、支払率72・1%にとどまっている。今後とも即時支払いを要望する。

問 産業振興の取り組みは

問 放射能汚染による農畜産物等の損害賠償についての内容は。

答 5月時点の請求金額は43億166万円。支払金額は31億136万円であり、支払率72・1%にとどまっている。今後とも即時支払いを要望する。

問 地域づくり計画策定後の支援および計画を実施・継続するための財源措置は。



岩淵正宏 議員

問 「住民主体の地域づくり計画で、市民サービ

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現

問 地域づくり計画で、住民負担増

答 各コミュニティ組織等におき、本年度から2力年で策定を進め、策定後は市民活動支援課、各総合支所、教育委員会等が連携し支援する。

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現

問 地方制度調査会から、総合支所運営に交付税拡充が答申された。現



お祭り大好き！（米川五日町）



震災後に目立ってきた空き地



早急な当直二人体制の救急医療が望まれる

問 医療と福祉の連携は充分か

答 携わる人のネットワークを強化



佐藤尚哉 議員

問 医療と保健・福祉・介護等の連携の取り組みは十分であるか伺う。

答 誰もがその人らしい質の高い生活が送れるように関係機関のネットワークの強化を図る。

地域づくり計画について

問 地域づくり計画の策定はどのようにするのか。

答 地区コミュニティが地域の将来像や課題解決に向けて計画するもの。計画づくりに取り組めない原因は何か。

答 指定管理者の指定を受けて日が浅く、勉強させてほしいと言っている。

問 支援体制が大切では。

答 宮城大学の講師を迎え研究して進めたい。

救急外来棟が完成

問 救急車の病院先が決まるまでの時間は短くなるのか伺う。

答 救急外来棟の整備を契機に、診療体制のあり方を精査し、改善に努めていく。

街路灯・防犯灯の整備

問 点灯不良については、一日も早い改修を。

答 市民から連絡を受け確認後、早急に修繕していく。

問 LED化の計画は。

答 25年度2702基、26年度は4060基の防犯灯を整備する。

道路災害復旧事業

問 まだ段差が直らない。早急の補修に努める。その他の質問

・転倒防止について



救急体制の改善が期待される



園芸の特産化を推進

問 園芸、産地拡大の具体的方策は

答 補助事業見直し、生産者確保助長



中澤 宏 議員

問 市長は、3期目の重点施策に園芸を本市農業の基幹とするよう産地拡大、特産化を重点的に推進すると表明したが、その具体的方策を伺う。

答 初期投資が多額にならない露地栽培からスタートできる①露地栽培用資材の購入助成②中古ハウスの再利用に係る支援メニューを設けた。新規就農者向けには、③露地栽培用中古機械の購入助成④パイプハウスの

整備の補助率、補助限度額の拡大を行った。このほかにも、⑤園芸用ハウスの外張りビニールの張替え⑥花粉交配用の蜂の導入⑦環境配慮型冷暖房機導入も補助対象とした。園芸部門への参入のハードルを下げ、生産者の確保を助長していきたい。

問 反当100万円を上げる露地経営を目指す。1町歩1千万円。10町歩1億円。市内10力所に作れば10億円。人件費6億円で千人の雇用を生むような地域全体として分かりに向かっていく施策が必要ではないか。

答 登米市の農地、土地をどのように利用するのか非常に大切な視点であると思う。栽培する品目によつては、通年でいろいろな栽培が可能な状況になってきている。消費地の高い評価もあるのでしっかりとした体制づくりを整えていきたい。

問 計画された市民満足度の実現は

答 底上げをすることができなかった



沼倉利光 議員

問 第1次基本構想、基本計画の成果と反省について伺う。また、第2次基本構想、基本計画の策

定の考えも伺う。答 合併前の課題「消防防災センター」等の広域4事業「アスベスト対策、小中学校校舎等の耐震補強など取り組んだ。実施できなかった事業は、検証し、より充実したものになるように努める。第2次構想、計画は、将来像の実現のために不可欠

なものであり、27年9月議会の議決を目的に策定をする。

問 計画には市民満足度が6項目毎に目標数値が設定されている。17年の満足度の平均値は2・44。24年1月の平均値は2・47。合併5年後の目標は2・60。7年間で0・03しかアップしていないこの評価について伺う。

答 10年で満足度3まで引き上げる構想だったが非常に反省している。2・03

と満足度で最底である。市内の高卒者の管内就職者数は21年に89人、25年3月は87人、パーセントは上がっているが実態は改善していない。

問 市内の企業者には頑張っていたらいい。答 子育て支援は栗原市の医療費無料化、子育て支援金事業等を参考に、出生をふやす施策の考えは、

答 子育て支援は、いろいろな制度を検証し、しっかりと整備する。

問 救急外来棟、医療スタッフ体制は

答 当分は現状の体制で



庄子喜一 議員

問 総工費4億1400万円を整備された救急外来棟。4割以上の患者が市外へ搬送されている。

答 収容所要時間は全国平均より150秒ほど遅い40・5分要しているが、どの程度改善されるか。答 体制は変わらない。医師不足と看護師の体制が整わない現状である。受け入れ環境を改善し、一日も早く応援医師を招聘し、当直二人体制で救急医療に対応する。

新高校開校に向けて

問 通常より1年早く設立準備室が設置されたが、グラウンドの整備は間に合うか。

答 今年度中に用地取得を完了し、26年度に整備を行う予定。開校に間に合うよう強く要望する。

問 用地北端の一部宅地も含めて長方形の整形でのグラウンド整備を、と同窓会より要望されているが。



大きく育て、登米市の子どもたち

答 地権者の方よりぜひ協力したい旨、発言があり取得に向け県と一緒に取り組んでいく。

問 敷地内の道路の移動は考えられないか。

答 農中道線は教育環境改善の観点で変更を予定。農高前線は下水道管が埋設されており移動には多額費用が必要である。今後、県と協議を重ねる。

問 その他の質問

あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

市政に思いつくこと

私が市政に関して思っていることは2つあります。1つ目は、6月議会で国民健康保険税を値上げするという事を耳にしました。市民の生活が豊かじやないのに、なぜ値上げをするのか。市民から承諾を受けていないのに、なぜ上げるのだろうか。自分は社会保険ですが、国民健康保険の人は、保険料を納めるのが大変だという声を聞いています。もう少し、市民の生活状況を把握し、市民の声をもっと聞いてほしい。2つ目は、登米市に避難している南三陸町の人たちの事を議会で話し合っているのでしょうか。なにか活動を行い、もっと力を入れていけば、南三陸の人たちが登米市に来てよかった、住みたいと思ってもらえるのではないのでしょうか。

子どもたちが、今後の登米市を継ぎたいと思える市を目指して下さい。期待しています。



せきぐち げん 彦さん
(登米)



ぬまくらたくろう 沼倉卓郎さん
(中田)

登米市の未来を拓く

激戦を制した市長、議員の方々が真剣に訴えた公約は地域医療・福祉・雇用等、どれもが私達が危惧している課題であり「絵に描いた餅」で終わることなく実現されるよう願うだけです。「議会だより」の議事内容からは、質疑に対する答弁が抽象的な説明にも拘わらず、賛成多数で議決されている議案もあり、市民の思いがなおざりにされているように残念に思われます。「白黒つけずに曖昧に」「先送り」して一件落着きと言うことのない議会を期待します。市民から信任を得て、登米市の未来を拓く、舵取りを託された市長、議員の方々には、会派、そして旧態依然として残っている地域間(縄張り意識)の壁を取払い、市民視点に立ち、真摯に自分達の課題と捉え、議論を交わし、具体的な施策とともに迅速な具現化をお願いします。



あべ さわこ 阿部佐和子さん
(津山)

地域の中でみんなと仲良し

平成9年10月、津山林業総合センターに講師の東北文化大学教授植木先生が見えられました。登米市では医療費削減のため65歳以上の高齢者を対象にした「登米いきいき体操」ができたのです。老いてなお元気でいられます様にと、講師先生のご指導で緊張感と新鮮さの中、笑いと汗を流し楽しかったです。

いつか自分も地元でこの体操を取り入れたらいい、ボランティアの仲間話し活動が始まりました。今では会員が26名と増え、集いのある日を待ち望んでいます。ゆっくり、のんびり、マイペースは何処へやら、見え隠れするパワーの凄さには驚かされます。今ではこのお茶飲みサロンが市内全域に広がりを見せたことはとても良いことだと思います。

これから先も議員の皆様のお力によって、登米市が住みよいまちであり続きますように願っています。

平成24年度 政務調査費収支報告

政務調査費は議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派又は会派に所属しない議員に対し議員1人当たり月額2万5千円を交付しています。登米市議会では用途の透明性を図るため、収支報告書に全ての領収書の添付を義務付けています。支出額が交付額に満たないときは、その残額を返還することになっています。また、収支報告書はだれでも閲覧できます。

(単位:円)

会派および議員名	日本共産党市議団	新・立志の会	登米フォーラム	登米・みらい21	二階堂一男	佐藤 勝	浅田 修
議員数	3人	5人	10人(11人)	7人	1人	1人	1人
交付額	900,000	1,500,000	3,100,000	2,100,000	300,000	300,000	300,000
支出項目	研究研修費	172,555		720	6,611		
	調査旅費		398,259	2,207,163	819,528	117,127	
	資料作成費						
	資料購入費	3,390		1,680	4,800		
	広報費	117,597	252,157		636,003	300,000	
	公聴費						
	人件費			708,000	480,000		
	事務所費			178,157	93,432		
その他の経費							
支出計	293,542	650,416	3,095,720	2,040,374	300,000	117,127	0
戻入額	606,458	849,584	4,280	59,626	0	182,873	300,000

() は変更前人数

会派構成

会派とは、政策を中心とした同一の理念を共有する議員の集団をいいます。また、会派を構成することにより、能率的な運営ができます。

会派を結成するには2人以上が必要です。

新・立志の会
代表 岩淵正宏
経理責任者 関孝俊
田口俊義
日下久義
八木しみ子

登米・みらい21
代表 及川昌憲
経理責任者 佐々木一
伊藤吉浩
中澤宏
田口政信
星順一

日本共産党市議団
代表 佐藤恵喜
経理責任者 工藤淳子
佐藤尚哉

絆
代表 沼倉利光
経理責任者 佐々木幸一
熊谷憲雄
及川長太郎
浅野敬

登米フォーラム
代表 伊藤栄
経理責任者 庄子喜一
浅田修

(届け出順)